

# 東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン 概要

## 目的

- 大会の成功に向け本県として積極的に貢献する
- 大会開催に伴う様々な効果の本県の活性化に結び付ける

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「リーディング」と5つの柱において戦略的な取組を展開

## リーディング

- (1)機運醸成・連携
  - 機運の醸成、連携体制の整備
- (2)キャンプ地誘致の推進
  - OPR活動、地域における交流の促進 等
- (3)ホスタウン構想の推進
  - ホスタウン構想に基づく交流

## 継承したいレガシー

### 第1の柱 スポーツ・健康

- (1)スポーツの振興
  - 生涯スポーツの振興、競技スポーツの振興 等
- (2)健康づくりの推進
  - 健康づくりに関する機運の醸成

誰もがスポーツに親しむことができ、健康に暮らせる社会

### 第2の柱 ユニバーサル

- (1)障害者スポーツの振興
  - 障害者スポーツ選手等の育成、障害者スポーツの情報発信 等
- (2)障害及び障害者に対する理解促進
  - 啓発活動の推進
- (3)ユニバーサルデザインのまちづくり
  - バリアフリー化の促進、障害者の情報保障等に係る環境整備

障害者や高齢者がスポーツ等を通じて生き生きと暮らす社会

### 第3の柱 文化・教育

- (1)大会を契機とした文化・芸術の振興
  - とちぎ版文化プログラムの策定・展開、文化の発信 等
- (2)オリンピック・パラリンピック教育の推進
  - オリンピック・パラリンピック教育の推進、社会貢献の促進

国内外の人々を惹きつける文化あふれる社会

### 第4の柱 国際交流

- (1)ホスタウン構想の推進
  - ホスタウン構想に基づく交流
- (2)国際理解・国際交流の推進
  - 県民の国際理解の促進、国際交流・協力への参加促進 等

世界の人々が集う国際色豊かな社会

### 第5の柱 観光・地域産業

- (1)戦略的な海外誘客プロモーションの展開
  - 世界に向けた情報発信の強化、広域連携の推進
- (2)国内外の人から選ばれる観光地づくり
  - 観光客受入環境の整備、おもてなしの向上 等
- (3)地域資源の活用促進
  - 地域資源のブランド価値向上

国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいあふれる社会

県民一人ひとりが日本やとちぎの良さを再認識して自信と誇りに満ち、誰もが輝く社会